

令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		17-	5
事業名	公民館諸事業経費	会計 一般	款 10	項 5	目 3
政 策	6 人生を豊かにするために	課名	社会教育課		
施 策	6-1 生涯学習の推進	係名	生涯学習係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	地域の学習拠点、家庭教育支援拠点として利用者のニーズに応じた運用を検討するなど施設の有効利用、利便性を図る。
事業内容	地域の学習拠点、家庭教育支援拠点として利用者のニーズに応じた運用を検討するなど、施設の有効利用・利便性を図る。 公民館での作品展示やサークル活動の充実、また、生涯学習の企画運営に参画するコーディネーター（指導者含む）を募集し、人材の発掘と育成を図るとともに、若者から高齢者までを対象とした学習機会の拡充に努める。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1	公民館・文化会館利用者数	34,580	42,247	46,962	人	↑	50,000	
	2	生涯学習関連の講座・教室の参加者数	249	290	286	人		280	
	3	体験学習活動平均参加率	8.9	28.8	20.1	%	↑	15	
	4								
	5								
				令和4年度（決算）		令和5年度（決算）		令和6年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B				7,413		5,992		5,882	
財源 内訳	直接事業費A			3,705		3,604		3,758	
	うち一般財源			3,705		3,604		3,758	
人件費（千円）B				3,708		2,388		2,124	
内訳	一般職員（人・千円）			0.48	3168	0.34	2244	0.3	1980
	臨時職員（人・千円）			0.30	540	0.08	144	0.08	144

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善＜※主管課長記入＞

（1）事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充（事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき）					

（2）事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	町事業による施設利用者への利用案内をはじめ、広報紙やHPなどPRに努める。	③取組の課題	公民館講座やこどもカレッジの受講者増加のための開講講座の工夫と、稼働率の低い曜日や時間帯の利用促進。
②R5年度に実施した取り組み	新規講座を新たに設定し公民館講座を開催、その他こどもカレッジを開催し、公民館施設利用の促進を図った。	④今後の改善計画	町事業による施設利用者への利用案内をはじめ、広報紙やHPなどPRに努める。